

# 清友

## No.106

2018年6月



金峰山・五丈岩

「人間」で〜す

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

今年は絶対親睦旅行へ行くぞ

### 企画案

旅行日▽11月11日(日)〜12日(月)  
旅行先▽ニュー・グリーンピア津南  
旅行費▽1万5千円程度(昼食代別)

5月15日の幹事会と旅行部会で、秋の親睦旅行の企画案を決めました。

### ●旅行日と旅行先

旅行日は、11月11日〜12日、一泊二日のバス旅行です。  
旅行先は、「ニュー・グリーンピア津南」。元は年金福祉事業団の保養施設。新潟の津南町にある四季いつでも楽しめる敷地100万坪のリゾートです。

### ●料金は極力安く

旅行料金は現在詰めていますが、新宿発直行バス付一泊個室での飲み放題・カラオケ付、紅葉で有名な秋山郷ミニツアーもつけて、1万5千円程度(昼食代別)の予定。二日分の昼食代をどうするかで、料金は変更になるかもしれませんが、二人で個室の場合は、2千円×2のプラスが必要に。

### ●難点も...

ただし、バスは貸切にはできません。そこが難点ですが、少人数で安く行くためには仕方ありません。今年こそ、3年ぶりの親睦旅行へ行きましょう。



ニュー・グリーンピア津南



秋山郷・布岩

# 6月15日

## 第11回定期総会 10周年記念式典

ご案内のとおり、第11回定期総会と10周年記念レセプションは6月15日です。おおよかな日程は次のとおりです。  
▼第11回定期総会

\* 6月15日 10時開会

\* 清掃会館地下ホール

▼10周年記念レセプション

\* 6月15日 11時45分開会

\* 総会に引続き地下ホール

\* 12時30分に乾杯、懇談

\* 14時30分閉会目安

参加予定者は、来賓を含め

現時点で50名を超えています。

記念レセプションのパーティ

は、立食ではなく椅子席に

しました。ゆったりと懐かしい

方々とお話しを楽しめると

思います。

参加申込み

をお忘れの方

は、大至急連

絡ください。



# 第5回 幹事会

- ① 定期総会・10周年記念運営、② 秋の旅行計画、③ 再任用準会員の共済加入、④ 他単会行事の参加対応 etc.

5月15日に第5回幹事会と専門部会を開き、次のことを確認しました。(定期総会・10周年記念の運営、秋の親睦旅行企画案は1面に掲載。)

## 秋のフィールドワーク 東京大空襲跡で検討中

秋のフィールドワークは、東部地区の東京大空襲跡を候補に検討中です。空襲だけでなく、関東大震災に関わることもあわせて見て回る方向で、10月実施を考えています。実施案は7月の幹事会で決める予定です。

## 再任用準会員の「安心総合共済」加入条件を撤廃

再任用組合員は退職者会の準会員です。会費をもらっていないので、自治退の損害保険「安心総合共済」に加入する場合、退職者会の正規会員化をする必要があり、自治退納付分年600円を加入者からい

ただくことにしています。

しかし、自治退本部が「会費免除・減額者を会費納入基礎数から除外できる」方向へ方針転換しましたので、結果として、再任用準会員が自治退「安心総合共済」に加入する際の条件としていた自治退納付分年600円の徴収は不要となりました。加入条件を撤廃することにしました。

## 他単会「新春の集い」に参加しない方向を確認

昨年2月、都庁関係の退職者会との交流強化を目的に、各組織の「新春の集い」に積極的に参加することを決めましたが、都庁関係各組織と話し合い、お互いに「新春の集い」参加は遠慮する方向でまとまりました。早速、昨年の決定を撤回することにしました。



## 東京都庁職員退職者連合会親睦交流

### 秩父事件・秩父困民党の足跡をたどる

5月28日、東京都庁職員退職者連合会の仲間と、春風漂う秩父路で、明治17年に起きた日本近代史上最大の農民武装蜂起の足跡を辿りました。

秩父事件は、「松方デフレ不況と生糸価格暴落により多くの農家が困窮し、自由民権運動の影響下、対政府嘆願や負債据置等を高利貸側に求めたが、拒否され、苛酷な取立てに業を煮やした農民達が武装蜂起を決意、困民党軍を組織

し「新政厚德」の旗の基、政府の地方機関や高利貸を攻撃、秩父地区の行政権も掌握したものの、政府軍の前に壊滅、死刑11名、重懲役289名、軽懲役等3千名を出して終焉した。」というものです。地元ボランテアの方より、歴史や当時の苛酷な農民生活の実態について詳しくお聞きし、感情がたぎり、現代の沖縄問題や安倍政権への怒りが、約150年前の秩父困民党諸氏と時を超え重魂

していくような感覚にとらわれました。その後、「龍勢会館」「井上伝蔵邸」「音楽寺」を回り、「梵の湯温泉」で休憩。楽しくも、昔日の魂にも触れられたミニ旅でした。(箱田)



てに寺楽音を鳴らした鐘の起決が軍党民困



「秩父事件百年の碑」と



「困民党無名戦士の墓」

狭山事件で被差別部落出身の石川一雄さんが犯人に仕立て上げられてから55年。石川さんは、無実を叫び再審を求めて闘い続けています。

第3次の再審請求では、検察が隠し持つ膨大な証拠の一部が開示され、無実を証明する決定的証拠が次々と明らかになっていきます。石川さんの自宅から発見したとされる「被害者の万年筆」は、インクの成分から被害者の物ではないことが科学的に立証され、犯人が残した唯一の証拠の脅迫状は、コンピューター解析で石



狭山事件の再審を求める市民集会

数々の証拠から無実は明らか、ただちに再審開始を!



川さんの筆跡とは完全に別人の物と明らかにされるなど、石川さんを犯人と認定した「重要証拠」は、ことごとく偽物だったと証明されています。

24歳で獄中に入れられた「石川青年」も79歳。もう一日も待てません。今年こそ再審決定を勝ち取ろうと、逮捕された日の5月23日、日比谷野音で「狭山事件の再審を求める市民集会」が開かれました。

退職者会からも大勢参加し、全国からの参加者とともに熱心に石川さんや袴田事件など冤罪被害者の訴えに耳を澄ませました。集会後、常盤橋までデモ。銀座や東京駅前などで石川さんの無実を訴えて、コールしました。(押田)

地域に密着し人権問題を取組んできた足立の運動にふれたフィールドワーク

清掃・人権交流会の足立フィールドワークが5月13日、土砂降りの雨にも負けず、足立区興本地域福祉センターで行なわれました。

長谷川部落解放同盟足立支部長が「足立区における部落解放運動となかま保育園」と題して講演。近代になって皮革産業の強制移転等により被差別地域が形作られ、関東大震災を経て紙屑回収業者が移転、在日コリアンも移り住み被差別マイノリティー共生の街になった歴史や、71年の足

立支部結成後、差別的な区当局との厳しい闘いを通して「なかま保育園」を地域と結びつけてきた経過が話されました。

講演後、「なかま保育園」に移動、園を視察し詳しい説明を受けました。在日コリアンやアジア各国労働者の子も積極的に受け入れ、人権侵害と正面から取り組んできたこのことです。参加者は保育室で車座になり意見交換、和気あいあいの集いになりました。(押田)



### 6月24日に狭山現地調査

狭山事件が明らかに冤罪であることは、事件の現地をまわってみると一目瞭然、「ウソの自白」がいかにか矛盾だらけかを実感できます。

東京清掃は狭山現地調査を清掃・人権交流会と交互に毎年開催し、22回目、今年の主催は東京清掃です。

◆6月24日(日)9時45分  
狭山市富士見集会所(弁当・参加費無料)

### 7月28日に清掃人権交流会総会

清掃・人権交流会は結成20年。清掃職業差別、部落差別やあらゆる差別を許さない取組みとして、フィールドワークや芝浦と場見学等生きた学習を行ない、人権に関心がある市民との交流も増えました。

●7月28日(土)午後5時30分  
清掃会館地下ホールで「定期総会」  
※年会費は2,000円です。

美ら海壊すな！土砂で埋めるな！

# 1万人で国会を包囲

5月26日、辺野古新基地建設反対を掲げて「美ら海壊すな！土砂で埋めるな！国会包囲行動」が行われ、1万人が参加（退職者会は10人）しました。

## 辺野古の下に活断層

辺野古では、7月から埋め立てが強行されようとしています。主催者は、「辺野古新基地の下は活断層の疑いがあり、かつ軟弱地盤上に建設されようとしている。」と指摘、「昨年11月、沖縄選出の糸数議員等の質問書に対し政府は『活断層があるとは認識していない。』と回答したが、昨年2月頃の沖縄防衛局の調査で『活断層の疑い』が報告されていたことが判明。政府はウソの回答をした。」と報告しました。

## 新基地建設は不可能

「活断層が疑われ、軟弱地盤であれば、設計変更を必要と

し、変更の知事許可がない限り基地建設はできない。」という報告に続き、「米空軍基地周辺の構造物高さ規制の関係で、米本土ならば基地建設は不可能。」という報告もありました。辺野古新基地は阻止できるという想いを共有できた参加者は、「新基地反対！」の声を国会へ向けてぶつけました。



政府ぐるみで公文書を隠ぺい、改ざん、廃棄。森友・加計疑惑が安倍がらみの利権であることは明白です。国会ではウソを並べ立て、はぐらかす答弁の卑怯さ。「道徳教育重視？」が笑わせませす。相次ぐ大企業の偽装、不正隠しも、安倍手法と同じ。日本の劣化を象徴する事態に、あきれているだけではなく、行動しましょう。一歩でも。戦争法（安保関連法）が強行採決された15年9月19日にちなんで毎月「19日行動」が行われています。32回目の5月19日も、「安倍も麻生も辞めろ！」とコールしました。

定額で働かせ放題になる「高度プロフェッショナル制度」が、衆院で強行採決目前という緊張感がただよう中、過労死家族が立ち上がりました。5月22日、安倍首相に面会を求めて官邸前で座り込み、夜の日比谷集会（日弁連主催）でも、「高プロは過労死を増やす。過労死で苦しむ家族をこれ以上増やさないで。」と、切々と訴えました。「高プロ」を含む労働法制改悪案は衆院で可決、参院に移られました。「高プロ」は将来的にもっと悪くなりかねない悪法です。法案阻止のため、退職者会も頑張ります。